

子どもを教育するという行為の重さ

澤田 裕之 (筑波大学大学院／教育制度学)

つるぎ だけ 劔岳 ～点の記～

- ◆ 種別：DVD ビデオ (映画)
- ◆ 監督：木村大作
- ◆ 製作年：2009 年
- ◆ 発売日：2009 年 12 月 11 日
- ◆ 製作国：日本
- ◆ 発売元：フジテレビジョン
- ◆ 販売元：ポニーキャニオン
- ◆ 時間：本編 139 分
- ◆ 音声／字幕：日本語
- ◆ 価格：¥2,999 (税込) ※ メモリアル・エディション



© 2009 「劔岳 点の記」製作委員会

あらすじ

明治 40 年、日本地図最後の空白地点を埋めるため、前人未踏の山に挑んだ男たちがいた。日露戦争直後、陸軍陸地測量部 (現:国土地理院) は、日本地図を完成させつつあったが、唯一、空白の箇所を残していた。越中立山 (北アルプス) の劔岳周域である。それまで日本の山々は修験者によって登頂された以外、陸軍によって登頂されてきた。陸軍は正確な日本地図の完成を名目に、測量官・柴崎芳太郎に対して劔岳登頂を命じたのである。しかし同時期、日本山岳会も劔岳初登頂を画策していた。そこでは未踏峰の劔岳初登頂を掛けて、陸軍と山岳会の角逐が展開されたのである。

こうした中で柴崎は地図作成の目的を自身に問いながらも、案内人の宇治長次郎らと共に、四等三角点を設置するべく劔岳を目指す。これは名誉のためでも利のためでもない、仕事に命と誇りを掛けて挑んだ男たちの事実の記録である。

シーン再現

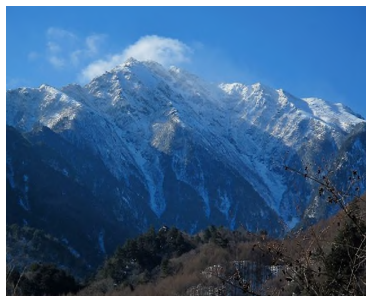
日本山岳会はパーティのメンバーに怪我人が出たことによって劔岳アタック (登頂) を断念。一方、測量隊は決死の覚悟で四等三角点を設置するため、別のルートでアタックし、見事登頂を果たす。人類史上初の劔岳登頂と思われたが、一行は頂の岩の隙間に修験者の錫杖を目にする。その結果に対して陸軍の反応は冷やかだった。陸軍参謀は「これでは何の意味もない。柴崎たちは初登頂

Chapter

1. オープニングタイトル / 1'40
2. 陸地測量部 / 5'30
3. 支える妻と後輩 / 5'12
4. 長次郎との出会い / 6'34
5. 芦峯寺村から室堂へ / 6'14
6. 夕陽の雲海 / 3'45
7. 別山、劔沢平 / 5'08
8. 池の平、劔岳南壁 / 6'26
9. 日本山岳会 / 3'08
10. 初雪、玉殿の行者 / 5'38
11. 下見を終えて / 4'14
12. 仲間たちとの再会 / 5'10
13. 雄山神社 / 4'34
14. 天狗山 (測量一日目) / 6'18
15. 雪の中の測量隊 / 4'18
16. 雪崩 / 6'37
17. 雄山、竜王岳 / 4'00
18. 五色ヶ原 / 5'09
19. 暴風雨 / 4'21
20. 山岳会の陰 / 5'07
21. 奥大日岳造標 / 5'13
22. 滑落 / 6'02
23. 立山温泉にて / 7'19
24. それぞれの思い / 5'21
25. 大雪溪 / 5'33
26. 劔岳頂上 / 5'19
27. 心のままに / 4'19
28. 最後の測量 / 4'56
29. 仲間たち / 4'24

ではなかったということだ。修験者ごときに我が帝国陸軍が遅れをとったということ以外の何物でもない」と一蹴。これに対して、柴崎と交友ある玉井大尉は測量隊の実績だけは評価してほしいと懇願する。しかし、陸軍参謀は「今度の劔岳のこと、それ自体を無かったことにできんかね。前人未踏という言葉を知ってるかね。修験者の錫杖の話など、役立たずの歴史家にでもくれてやればいい。軍にとっては何の役にもたたん」とし、劔岳登頂を評価しなかったのである。

教育学の視点から



静の群峰（南アルプス甲斐駒ヶ岳）
筆者撮影・2010年冬

三角点選点作業中、柴崎と小島鳥水（日本山岳会）の会話で注目したい遣り取りがある。柴崎「一つ聞いてもいいですか。小島さんは何故、山に登るのですか」。小島「何故って・・・柴崎さんはどうしてなんですか？」と。しかし、柴崎は答えられない。その答えを柴崎は模索し続けているからである。柴崎はこの間に対して、元陸軍陸地測量部測量官の古田盛作に手紙を宛てている。古田は、柴崎の前任者であり、長次郎とともに劔岳に挑み

つつも、劔岳登頂を果たせなかった柴崎の良き相談者でもある。その古田が柴崎に対して次の内容の手紙を送った。古田「お手紙を拝読し、私も改めて地図を作ることが、どういうことか考えてみました。人は皆誰しもが、生きている場所が日本の中で、世界の中でどんな所に位置していることが知りたいのではないのでしょうか。それは自分自身が何者であるのかを知ることにつながるからです。地図とは国家のためではなく、そこに生きている人たちのために、必要とされているのではないのでしょうか。人がどう評価しようとも『何をしたか』ではなく、『何のためにそれをしたか』が大事です」。

この古田からの手紙の一節、「地図」を「教育」に置き替えて、改めて「教育」とは何かを考えてみたい。教育とは国家のためではなく、そこに生きている子どもたちのために必要なのである。教育に求められる役割はその時々によって左右されてしまう。その中で教育が「人間の能力と人格・発達にたいする意識的働きかけ」*であるならば、教師は、第一に「子どものために」という目的を意識しなければならぬのではないだろうか。本映画は子どもを教育するという行為の重さを改めて考えさせてくれる作品である。

* 坂本忠芳『教育の人民的発想』青木書店、1982年、p. 3

Information

【原作】新田次郎『劔岳 点の記』文藝春秋、1981年、文庫／394頁

【DVD】『日本の名峰 劔岳測量物語 ～明治40年“点の記”～』NHK エンタープライズ、発売日：2010年5月28日。89分収録。税込価格 2,940円。明治の男たちが劔岳の頂をいかにして極め、測量を行ったのか—その足跡をたどるドキュメンタリー番組。